

庄内の風 ①⑥

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー



かんじきハイキング

「雪の季節」

庄内町は雪の季節になりました。庄内地方は奥羽山脈の西側にあり、北に鳥海山、南には出羽三山が峰を連ねています。冬になると大陸から押し寄せてくるシベリア寒気団の影響により、降雪量が多く平野部では地吹雪、山間部では豪雪に見舞われます。

庄内町でも多い時には役場付近で1メートル、また地区によっては、3.5メートルくらいの積雪があり、12



スノーキャンプ「かまくら灯ろう作り」

月から2月までは雪に覆われます。一面の銀世界はともきれいですが、雪の多い地域では屋根に降り積もった雪を降ろしたり、玄関から道路までの雪かきが日課となります。この作業は重労働で、時には屋根からの転落や除雪での事故と危険が伴います。

しかし、この雪を生かして、かんじきハイキング、灯ろう作りなどの内容で「スノーキャンプ」や、自治会主催による「雪灯ろうまつり」など雪を活用したイベントが開催されます。



山内 優人さん (入谷小学校6年)

ひとことインタビュー

入谷小学校開校式で、テイクアウトと児童代表のあいさつを行った山内優人さんに話を聞きました。

新しい校舎を大切に使います

旧校舎は50年間も大切に使用してきたので、新校舎はそれ以上長く使えるように、きれいに掃除し、大切に使用します。

野球が好きなので、スポーツ少年団でキャッチャーをしています。

でも、もうすぐ中学生になるので、スポーツは卒業することになります。部活動で野球を続けたいです。将来はプロ野球の選手になりたいです。



錦部 星さん (荒砥小学校6年)

ゆっくり話すように心がけました

録音は、始め緊張しましたが、話すうちに落ち着きを取り戻し、まあまあのもので出来栄になったと思います。録音の時は、町民みんなが聞くことになるので、ハッキリと、そして早口にならないようにゆっくり話すことを心がけました。

ところで、荒砥小学校では、地引き綱や「うなばら祭り」など、地域の皆さんと一緒に楽しむ行事がありました。志津川自然の家で2泊3日過ごす「セカンドスクール」も良い思い出です。統合しても、このような荒らしい行事が続けられると、とてもうれしいです。

私はもうすぐ中学生になります。新しい友達をたくさん作りたいし、英語の授業も部活動も一生懸命に頑張りたいです。

参加者募集 第3回南三陸町卓球選手権大会

今回から、40歳以上の方を対象にラージボールの部（ダブルス）を設けました。日ごろ、運動不足の方もぜひ挑戦してみてくださいいかがでしょうか？

◇日時 1月27日（日）午前9時開会
◇場所 町総合体育館ベイサイドアリーナ
◇種目 ①小学生シングルス ②中学生男子シングルス ③中学生女子シングルス ④高校一般男子シングルス ⑤高校一般女子シングルス ⑥男子ダブルス ⑦女子ダブルス（全て11点5セットマッチ） ⑧ラージボールの部（ダブルスのみで、ペアは抽選。40歳以上の方）
◇参加資格 町内在住、町内出身者、町内学校出身者または町内に通勤通学している者。
◇参加料 参加種目に関わらず、小学生300円、中学生600円、高校生1,000円、一般1,200円、ラージボール600円
◇申込締切 1月16日（水）午後5時
◇申し込み・問い合わせ 南三陸町卓球協会事務局（歌津公民館内）佐々木 ☎36-2071

参加者募集 フットサル大会を開催します！

※どちらの大会も、試合進行上、最大10チームで試合を行います。申込期限前に定数を満たした場合、その時点で締め切りますので、ご了承ください。

■第3回南三陸町フットサル大会
◇日時 1月20日（日）午前8時40分開会
◇場所 志津川公民館 体育館
◇参加資格 町内に在住または勤務する社会人及び出身者（ただし、中・高校生は1チーム1名（常時出場選手）まで参加を認めます。）
◇試合方法 ①平成19年度フットサル競技規則（5人制サッカー競技規則・一部ローカルルール）で行う。②試合時間は8分ハーフ、ハーフタイムは2分。③試合はリーグ戦またはリンク戦を行い、決勝戦を行う。④1チームの人員は10名以内とし、選手の交代はフリー。
◇参加料 1チーム3,000円（代表者会議時に納入）
◇申込受付期間 1月5日（土）～13日（日）
◇代表者会議 1月15日（火）午後7時志津川公民館 会議室
◇その他 ゼッケンは主催者で用意しますが、そろいのユニホームも可。室内運動靴持参。

■南三陸町男女Mix(混合)フットサル大会
◇日時 2月17日（日）午前8時40分開会
◇場所 志津川公民館 体育館
◇参加資格 代表者が町内在住または勤務する社会人であること。試合時に女性が1名以上出場していること。
◇申込受付 1月22日（火）～2月10日（日）
◇代表者会議 2月12日（火）午後7時 志津川公民館 会議室
◇参加料・試合方法等 「第3回南三陸町フットサル大会」と同じ。

申し込み・問い合わせ フットサル実行委員会事務局 アスリートやまうち（☎管の浜・平成の森入り口）☎36-2332 FAX36-2411
※申込書は、事務局及び志津川公民館、歌津公民館などにあります。



一億人の初心

夢大使 佐藤 啓さん (東京都)

てきて、そのうち平気でウソまでつくようになるんです。人様に喜んでいただけることをひたすら一所懸命におやりなさい。そうすれば、いつの日か必ず信頼してもらえます。その結果として儲かるようになるんですよ』

悲しいかな現代人の行動には能率や効率という数字がすべてに付いて回る。恐ろしいことにそれがみな「お金」という幸せの切符に直結すると誰もが信じて疑わない。

生活の単なる道具に過ぎないお金を得ることがいつの間にか人生の最大目的になってしまった。しかもなるべく楽をしてそれを得ようとする。額に汗して働くことをカッコワルイという。ここに病根がある。

断じて言えるのは『決して楽しんで儲かる商売などあり得ない！』という真実。もしあったとしたら、そこには必ず他人を欺き、騙し、陥れる

まがまが 禍々しいインチキがある。

もう一度言おう。日本人はこんなに「かばね病みでウソツキ」ではなかったはずだ。

そこでこんな日本を治す方法はたった一つ。「初心に還ること」これしかない。最初からインチキをして生きようとする人はいない。

実は私の右の肩にはいつももう一人の自分が乗っている。時折迷ったとき彼に問う。「これでいいのか？自分らしいか？正しいか？」と。他人は容易にダメでも自分を欺くことは誰にも出来ないのだから・・・

年が明け、今我がふるさと南三陸町も新たに産業や観光の振興キャンペーンが繰り広げられようとしている。願わくば東北人としての純な心を懸命にひたむきに、今こんなときにこそ生かして・・・と祈らずにはいられない。

夢大使 リレー通信 ①⑥

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、美容師で作家の佐藤啓さんです。

去年は日本全国に偽そう事件が相次いだ。

名にし負う老舗や有名ブランドが次々に名を連ね、みんなが自分の耳を疑い嘔然とした。“日本人はいつからこんなに嘘つきになった？！”信用はそれを得るには「高邁」な起業者の理念と「それを信ずる多くの手」、そして「気の遠くなるほどの長い年月」が必要だ。しかし、逆に失うのはほんの一瞬だ。こんなこと誰でも知っているのに。

こんなニュースに出合うたび、私は遙かな開業時を思い出してしまう。資金が足りず借金をした。担保も求めず、ポンと快く貸してくれたその人はその時こんな言葉を添えてくれた。

『儲けるんじゃないんですよ。儲かる商売をなさい。始めに儲けの数字を考えるとどうしても商売が濁ります。ムリやゴマカシが必要になっ